

国語

令和八年度入学試験問題

受験上の注意

- 一、監督の指示により、受験する科目の解答用紙を使用してください。
- 二、解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナを記入し、受験番号および該当する試験日をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
- 三、問題冊子と解答用紙の解答番号を間違えないように注意してください。
- 四、国語の問題は、選択問題があるので、下記の【表】の指示に従い解答してください。
- 五、国語の問題は、二～三十七ページにあります。試験開始の合図があら、まずページ数を確認してください。
- 六、試験時間中は、受験票を机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
- 七、質問、その他用件があるときは、手を挙げて合図してください。
- 八、試験時間中の退室は認めません。
- 九、試験時間は六十分です。
- 十、この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

【表】下記の印に従い解答してください。

○印…必答 △印…いずれか一つ を解答してください	共通問題	一	二	三		
		(現代文)	(現代文)	ア (現代文)	イ (古文)	ウ (漢文)
全学部		○	○	△	△	△

一 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

私たちは、通常、何かを信じることに、それほど神経を使っていません。しかし、何かを信じるということは、私たちが思っている以上に重大な行為であることを、19世紀の数学者であり、哲学者でもあったウィリアム・クリフォードは強く主張しました。クリフォードは、数学者としてはクリフォード代数の確立者として有名ですが、哲学者としても活躍し、その中でも32歳の時に発表した「信念の倫理」は、現在まで読み継がれています。

(中略)

クリフォードは、船の修理が必要かもしれないと思いつながら、多分大丈夫だろうと思いつ込み、船を出航させて、沈没という結果を招き、保険金が入った船主の話から始めます。危ない船だと知りながら、安全だと自分に思いつ込ませて出航させた船主の責任が重いことはジメイ^(ア)でしょう。船主は、自分がそう信じたから信じたわけで、クリフォードは、このような人間を、自分の感情や思考を制御できない人として厳しく批判します。

しかし、クリフォードの主張の重要な点⁽¹⁾は、この船主の罪は、船が沈没したからではなく、たとえ運よく無事帰港できたとしても、船主に罪がないことにはならないと指摘していることです。なぜなら、不十分な証拠に基づいて信じたこと自体が問題だからです。「問題は信じたことが正しかったか間違っていたかではなく、誤った根拠にもとづいて信じたかどうか」なのです。誤った根拠に基づいて信じるような人間であれば、いつ結果が間違うかもしれないだけでなく、誤った根拠を是正する機会も失ってしまうのです。

【I】

信じたことが結果的に間違いであれば、そのことによって必ず何かの被害が発生しますし、誤った根拠を是正できなければ、人類の進歩はそこで止まってしまうこととなります。人間は、何でもかんでも勝手に信じてよいわけではなく、信じてよいのは「信じる権利」のあるものだけで、そうでないことを信じるのは、悪であり罪であると、クリフォードは厳しく批判します。

「信じる権利」⁽²⁾とは、クリフォード独特の言い回しですが、信じるべき対象について、十分に調べ尽くしたうえでないと、それを信じる権利はないということで、権利がないのにそれを行使すれば、それは当然、人類に対する罪になります。逆に言えば、人間は何かを信じる場合に、それを信じる権利が自分にあるのかどうかを常に自問自答しなければならぬことになります。

【II】

ではなぜクリフォードは信じることに、これほど厳しい態度をとるのでしょうか。それは、⁽³⁾一人の信念は、いかなる場合でも、その人だけにかかわる個人的な問題ではない」からです。私たちは、信念を自分自身の考えと思いがちですが、そうではありません。信念を考えるときに、言語を使えば、それはもう自分自身の占有物ではなく、人類がこれまで長い年月をかけて創り出した人工物を使って思考していることになり、人類のこれまでの歴史を共有して思考することになるのです。私たちはそれを受け継いで、次の世代へ伝えていく責任があります。この責任が、クリフォードの主張の根幹にあります。

つまり、私たちは、何かを信じる前に、徹底的に「調べる義務」を負っているのです。あなたの信念は必ず誰かに影響するとう意味で、人類共通の財産です。あなたが間違った信念を抱けば誰かが迷惑し、逆に、これまで人類がレンメン⁽⁴⁾として受け継いできた信念を継承し、さらに展開させることができれば、人類として子孫への責務を果たしたことになるのです。

この「調べる義務」は、社会で指導的地位にある人たちが負うべきものではありません。酒場でたどたく自分の考えを述べる田舎者や、疲れ切った職人の妻も、この責任を逃れることはできないとクリフォードは主張します。つまり、万人共通の義務なのです。酒場の田舎者や職人の妻が、人類にとって害悪となる迷信を広めてしまうかもしれないし、逆にそのような害悪を打ち砕くような考えを伝えるかもしれないからです。いずれにしても、信念を語ることは、その影響を広めてしまいます。影響を他者に及ぼす点において、社会的地位や職業などは関係がないのです。

クリフォードは、根拠のないことを信じることは、それが誰であっても、その信念を他人に流布して、悪影響を広めてしまうと批判しましたが、問題はそれだけではありません。簡単に物事を信じてしまうと、それが習慣化してしまって、人間の社会そのものが危機に瀕⁽⁵⁾することを繰り返して指摘しています。

【Ⅲ】

人間の社会は、物事について冷静に考えて判断する A な社会のほうです。しかし、何かを信じて疑わず、それを他人にも強要するようになれば、それは問答無用の野蛮な社会でしかありません。そこでは人間としての条件が欠落してしまっているのです。

(中略)

クリフォードの主張の大事な点は、前述のように、⁽⁴⁾ 何らかの考えが結果的に正しくても、簡単に信じることは悪であると言っていることです。それは、私たちには、その信念を必要に応じて修正し、改善する義務が課せられているからです。簡単に信じて検証もしないなら、検証の義務を怠ることになり、将来、間違った信念を持ったとしても簡単に修正できなくなってしまいます。

【Ⅳ】

誰もが完全ではない以上、自らの疑問を口にする⁽⁵⁾ ことで、過去の誤りを正して、少しでも正しい方向へ近づけることは私たちの祖先が延々と行ってきたことであり、そのオンケイ⁽⁶⁾ にあずかる私たちも、同じよう⁽⁷⁾ に行動して、将来の世代につなげていく責任があります。逆に簡単に信じることは、その義務を怠り、人類の可能性を損ねることに通じるのです。したがって、人類にとって調べる⁽⁸⁾ ことが義務であるとクリフォードは主張するのです。

B、クリフォードのように考えたら、何も信じられないし、行動できないと反論されるかもしれませんが。すべての事象を調べ尽くすのは人間には無理だからです。クリフォードも、現在の信念を正当化する証拠がない場合は、何らかの蓋然性に基づいて行動すべきであると認めています。しかし、それが認められるのは、その行動の結果を得て、信念の妥当性を検証する証拠が得られるからです。

(中略)

つまり、何かを信じることは、常に信じたことの結果を検証することと、セットでなければいけないのです。伝統や科学のような権威には、このような検証する手段が用意されていると、クリフォードは主張します。そうであれば、結果が検証されることで、

信じた対象が浄化され、信念が成長することになります。

【V】

科学の世界では、ピアレビュー（同業者による審査）の制度が普及しています。実際に、ピアレビューの制度がどれほど有効に機能しているのかについては、それこそ検証の対象ですが、もしそれが有効に機能しているのであれば、それは信じるに値するでしょう。クリフォードが「権威が有効なのは、それを疑問視し、検証するものがあるからである」と言うように、その場合は科学の権威が有効になります。

科学だけでなく、クリフォードは伝統も同じであると指摘します。伝統とは、「信じられるべき命題や声明ではなく、正しく問われる問い、そして問いを可能にする概念、さらに問いに答える方法で構成されている」と彼は主張します。伝統は、後続の世代に引き継がれるものであって、新しい世代が、先の世代と完全に同じ方法でそれを再現することはなく、常に、何が最善かを問い続けながら作業することを含みます。つまり、後の世代の人間が検証者になります。この動的なプロセスそのものが伝統であって、⁽⁶⁾そこでは行為と結果と検証がセットになっています。このプロセスを通じて信念が成長し、人類の叡智^{えいち}もまた拡張してきたのです。

（國部克彦『ワクチンの境界』問題作成上、一部を改変した）

問一 傍線部分(ア)～(ウ)と同じ漢字が使われているものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(ア) 1、

(イ) 2、(ウ) 3。

(ア) ジメイ ① そのテレビ番組はメイブツ司会者で人気だ

② チームの目標をメイカクにする

③ 目的のためドウメイを結ぶ

④ 10年前に起こったメイキユウ入り事件を思い出す

⑤ 雨は降っていないのにライメイが響き渡った

(イ) レンメン ① 弟には父のオモカゲがある

② 商売は信用がイノチだ

③ 春風に吹かれてタンポポのワタゲが飛んだ

④ 水をいっぱいにミたす

⑤ 危険をマヌカれることができた

(ウ) オンケイ ① 会議がケイガイカしている

② 風邪のテンケイテキナ症状がある

③ 先生をソンケイのまなざしで見える

④ ゴケイテキナ協定を締結する

⑤ 物事が彼のケイサン通りに進んでいる

問二 傍線部分(1)「船主の罪」として、不適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 4。

- ① 保険金目当てで船を沈没させたこと
- ② 船を沈没させて損害を発生させたこと
- ③ 不十分な根拠で船が安全だと思い込んだこと
- ④ 船が安全だと思い込むことで沈没する危険性を放置したこと
- ⑤ 船が安全だと思い込むことで修理を行う機会を失ったこと

問三 傍線部分(2)「信じる権利」とあるが、次の文章中にある傍線部分の情報発信者のうち、クリフォードの考える「信じる権

利」がある人物を一人選び、マークしなさい。解答番号は 5。

友人Wと友人Xがケンカしたらしく、Wが一方的な言い分でXの人間性を傷つける悪口をSNSに投稿した。友人YはWとXがケンカしたことを知らず、深く考えないまま、Wの投稿をSNSで再共有した。Xはその投稿でWの投稿を知り、仕返しとしてWと同じようにSNSに反論を投稿した。友人Zは普段からよくSNSへ投稿しているが、今回はWとXの両方の言い分に納得がいかないらしく、直接両方の話を聞いて納得してから何かを投稿することにしたらしい。僕はWよりXとの付き合いが長く、信頼関係があるので、Xを応援する意味でXの投稿を再共有した。

- ① 友人W
- ② 友人X
- ③ 友人Y
- ④ 友人Z
- ⑤ 僕

問四 傍線部分(3)「人の信念は、いかなる場合でも、その人だけにかかわる個人的な問題ではない」とあるが、その理由として、

不適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 言語という人類の共通財産を使用しているから
- ② 思考において人類のこれまでの歴史を共有しているから
- ③ 信念は必ず誰かを信じるところから始まるから
- ④ 自分の信念は必ず誰かに影響するから
- ⑤ 自分が間違った信念を抱けば誰かが迷惑するから

問五 空欄Aに入る語句として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 感情的
- ② 直観的
- ③ 実用的
- ④ 消極的
- ⑤ 理性的

問六 傍線部分(4)「何らかの考えが結果的に正しくても、簡単に信じることは悪である」とあるが、その理由として、最も適当

なもの一つを選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 簡単に信じることによって、信念を改善して次世代につなげる義務を果たさなくなるから
- ② 簡単に信じることによって、検証を忘れがちになるから
- ③ 簡単に信じることによって、完全ではないものを信じることになるから
- ④ 簡単に信じることによって、間違った内容を修正する機会を失うから
- ⑤ 簡単に信じることによって、疑問を口にすることがなくなるから

- 問七 空欄Bに入る語句として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。
- ① だから ② ひいては ③ つまり ④ とりわけ ⑤ ところが

問八 傍線部分(5)「結果を検証すること」とあるが、結果と検証の組み合わせとして、不適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 科学的な結論とピアレビュー
② 伝統行為とその完全再現
③ パソコンのエラー発生と再現性の確認
④ 模試の結果と復習テスト
⑤ 企業の財務報告と監査

問九 この本文では、クリフォードの「信念の倫理」から次の引用文が挿入されていた。この引用文を本文中の【I】～【V】のどの箇所に補えばよいか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

「軽々しく物事を信じたことで、人類に対して重大な間違いを犯したことはまぬかれない。社会にとって危険なのは、間違ったことを信じることだけではない。それだけでも重大な危険だが、さらに社会が軽々しく物事を信じるようになり、詳しく確かめ、調べる習慣を失う危険がある。そうなれば野蛮社会へ逆戻りせざるをえない。」

- ① 【I】 ② 【II】 ③ 【III】 ④ 【IV】 ⑤ 【V】

問十 傍線部分(6)「このプロセスを通じて信念が成長し、人類の叡智もまた拡張してきた」とあるが、その説明として、最も適

当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 12。

- ① 行為の結果を得て検証するというプロセスを一連の完結したものとして、あらゆる物事を行うことで信念が成長し、人類は発展してきたということ
- ② あらゆる結果に必ず疑問を持つというプロセスによって信念が成長し、人類は検証の方法を発展させてきたということ
- ③ 行為と結果と検証のセットをすべての物事に行うプロセスによって信念が成長し、伝統は拡大してきたということ
- ④ 伝統行為にとらわれることなく、後の世代が破壊と創造というプロセスを繰り返すことで信念が成長し、価値観が進化してきたということ
- ⑤ 行為↓結果↓検証↓行為↓結果↓検証↓……という繰り返しのプロセスで信念が成長し、人類は発展してきたということ

この頁は白紙です

二 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

最近のアンケートで、自分の子供がどのような人に育ってほしいか、と親たちに尋ねたところ、「思いやりのある人に」という答えが圧倒的に多かったという。人はみな、利他的な態度や行為の必要性を実感していて、子供たちには、そう育ってほしいと願っている。

たしかに、⁽²⁾ヒトの利他性は、他の動物たちにくらべると、ずっと顕著で次元も高い。社会には利己的な行動ばかりで、利他的な行動がみられないところですが、正直、ヒトほど他者に協調し、協力したり援助したりする種は、他には見当たらない。ヒトと他の動物との、もっとも大きな違いは「利他性にある」といつてもいい。動物行動学者たちがいうように、自分の生命まで犠牲にして他者を救うのは、ほんとうにヒトだけかもしれないと思う。では、⁽³⁾なぜ、ヒトだけに、こうした高次元な利他性が生じてきたのだろうか。その起因、理由はなんだろうか。

まず考えられるのは、ヒトの強い社会性と、その著しく発達した脳の働きである。現在のヒトの社会は、動物たちの群れと違い、非常に高度で複雑に構成されている。だが元をたどれば、それはやはり、他の動物たちの群れと同じようで、大差はなかっただろう。ヒトはとくに力の強い動物というわけではないから、身の安全を守り食料を得るためには、単独でいるより、家族や血縁のものたちと一緒に集団で暮らしたほうが、はるかに有利であった。そして、その集団の人口が増えて規模が大きくなると、内部に役割の分担ができて集団は組織化され、次第に社会とよべるような秩序だった構成の組織に発展してきたのだろう。

現在の私たちの社会は、国や地域だけでなく、人種、言語、文化、宗教など、さまざまなもので細分化され、組織化され、⁽⁴⁾それらがさらに重なりあって、複雑で複合的な構造をなしている。個人の側からみれば、それぞれの人たちはみな家族や職場、地域や国家に属し、さらに、特定の言語や宗教、文化圏に属して暮らしている。こうした組織・共同体に属することは、しかし、個人にとって有利だけでなく不利もともなう。⁽⁵⁾各組織や共同体には、それぞれに、そこでの慣習やルール（規範）があって、構成メンバーは、そこにいるかぎり、それらを遵守しなければならないし、仲間と協調、協力し、組織・共同体への忠誠や献身も要求され

るからだ。利己を抑えて、利他性を示すように求められるのである。

だが、どんなにデメリットがあっても、船が難破したり、遭難でもしなければ、人は誰も、絶海の孤島に一人で暮らそうなどとは思わない。人は強い社会性、集団をつくって生活しようとする性質をもっているのである。どんな僻地^{へきち}に一人で住んでいても、人は決して一人ではなく、必ず何らかのかたちで社会とつながって暮らしている。ヒトは、社会と切り離されては生きられない、きわめて社会性の強い動物なのだ。このように社会性が強いのは、長い進化のあいだ、ずっと、社会生活に馴染^{なじ}んできたからで、強い社会性は本能的でもある。ヒトの高次な利他性は、まずこの強い社会性によっているといっている。

もう一つの要因は、脳の高度な発達である。ヒトが示す他者への配慮や協調、助け合いは、その優れた脳の働きのおかげである。ヒトの脳は、⁶⁾他の動物たちのそれとはくらべものにならない優れた能力をたくさんもっている。利他性に関わる能力としては、他人の気持ちを探る推察力、感情をともしする共感性、そして、状況を理解する分析力などであるが、いずれも非常に優れている。もちろん、サルやイヌも、まわりの状態を察知し、仲間の状況を判断することができる。けれども、ヒトのように、繊細、的確に、相手の表情や態度、行動から、その期待や要求を推理し、援助の方法や結果まで推し測ることはできない。チンパンジーは、ヒトに次ぐ知能をもつが、こうした能力では、ヒトの幼児に及ぶか及ばないかである。

このように、ヒトの高い利他性は、その強い社会性と、脳の高度の発達の二つに主に起因している。では、社会と脳がさらに発達すれば、利他性もさらに高くなるだろうか、と問われれば、大いに疑問だ。それは、むしろ、これからの社会のあり方と教育の仕方に大きく依^よっている。

(中略)

かつて、地球は無限に広い空間であった。そこには、ゆとりも資源も充分にあって、小さな共同体や個人の欲求や希望は、すべて受け入れてくれるものと思われていた。だが今は、地球は宇宙の小さな一惑星で、その空間も資源もかぎられていることを誰もが知っている。近代科学の進歩、とくに情報通信機器や交通機関の著しい発展は、世界をすっかり狭小にしてしまった。人々は地球そのものをも一つの社会として捉えるようになってきている。

(7) 地球が小さくなると、その資源もかぎられたものとなって、資源の獲得をめぐる、国や巨大企業が、その武力や経済力を前面に、自分たちだけの利益、権益を求めてすさまじい競争をしている。世界は、個人から企業組織、国まで、あらゆるレベルで利己的な行動に満ちている。有限な地球上で、人々の欲望は無限なのである。

地球の資源、資財が有限であることは事実である。この事実を前にして、今なすべき大切なことは、資源、資財の獲得競争ではなく、人々の意識を変えることである。物へのこだわりを捨てて、獲得に費やすエネルギーを精神面へと向かわせることだ。「利己から利他へ」と、生き方を変えることである。そうすれば、地球社会の資源は、より長く維持され、資財も公正に分配されて、人類全体がより豊かに穏やかに、より長く存続していくことだろう。

私たちは、日頃、利己的な本能をむきだしにしている、その心底には、利他的な本能をしっかりともっている。⁽⁹⁾ なにか事があれば、それは、一気に表面に噴きだしてくる。そのことは災害時の人々の助け合いをみれば分かる。だが日頃は、それは心底に沈積したままで潜在している。私たちは、この利他心を日常の生活のなかでも、もっと顕在化⁽¹⁰⁾させたいと願う。

人は利他によって心の満足を得る。利己でなく、利他で満足が得られるのは、おそらく、共に本能であっても、利他のほうが利己よりも進化的に新しく、発達した脳（心）の働きが、より強く作用しているからであろう。

よい生き方とは、利己と利他のバランスを適切にもって生きることである。よき社会とは、利己と利他のバランスが適切に保たれている社会である。地球社会を持続可能なよき社会とするのは、私たち一人一人の、よき利他と利己のバランスの維持に依存している。

（柳澤嘉一郎『利他的な遺伝子』問題作成上、一部を改変した）

問一 傍線部分(1)「利他的な態度や行為」に含まれることを表したものはどれか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。

解答番号は 。

- ① 自分の生命を犠牲にして他者を救う
- ② 家族や血縁のものたちと集団で暮らす
- ③ 自分の身の安全を守り食料を得る
- ④ 強い社会性と著しく発達した脳をもつ
- ⑤ 秩序だった構成の組織に発展する

問二 傍線部分(2)「ヒト」とあるが、なぜ片仮名で書かれていると考えられるか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。

解答番号は 。

- ① 子供にも読みやすくするため
- ② キーワードとして目立たせるため
- ③ 動物の一種として比較するため
- ④ 利他性をもつことを強調するため
- ⑤ 堅い話題の雰囲気をやわらげるため

問三 傍線部分(3)「なぜ、ヒトだけに、こうした高次元な利他性が生じてきたのだろうか」とあるが、筆者が考える理由として、
適当なものを二つ選び、マークしなさい。解答番号は 15 (解答欄一行に二つマークすること)。

- ① 他の動物と違って群れを構成して暮らすから
- ② 社会をつくって生活しようとする性質を特に強くもっているから
- ③ 特定の言語、宗教、文化圏に属して暮らしているから
- ④ 仲間と協調、協力したいという気持ちがおこるから
- ⑤ 所属する組織・共同体への忠誠や献身を求められているから
- ⑥ 他の動物よりも著しく発達した脳の働きがあるから

問四 傍線部分(4)「それらがさらに重なりあつて、複雑で複合的な構造をなしている」とはどういう意味か。最も適当なものを
一つ選び、マークしなさい。解答番号は 16。

- ① 個人がある国や地域に所属すると同時に、国や地域を超えて、横断的に形成された言語、宗教、文化圏にも属している
- ② 個人がある国や地域に所属するだけでなく、その国や地域の中にしか存在しない言語、宗教、文化圏に属している
- ③ 個人がある国や地域に所属することをやめて、国や地域を超えて横断的に形成された言語、宗教、文化圏に属している
- ④ 個人がある国や地域に所属することをやめて、言語、宗教、文化に基づく家族や職場といった小さい単位に属している
- ⑤ 個人がもともと生まれた国や地域に所属することをやめて、自由に国や地域を選んで移動し、新しい所に所属している

問五 傍線部分(5)「不利」に含まれるものはどのようなことか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 17。

- ① 家族や血縁のものたちと一緒に暮らさねばならないこと
- ② 特定の言語や宗教、文化圏に属して暮らさねばならないこと
- ③ 慣習やルールを守って仲間と協調、協力しなくてはならないこと
- ④ 船が難破して、絶海の孤島に一人で暮らさねばならないこと
- ⑤ 僻地に一人で暮らしていても社会に帰属しなくてはならないこと

問六 傍線部分(6)「他の動物たちのそれとはくらべものにならない優れた能力」とあるが、具体的に筆者はどの能力をさしているか。適当なものを二つ選び、マークしなさい。解答番号は 18 (解答欄一行に二つマークすること)。

- ① 自分のまわりの状況を察知する能力
- ② 自分と仲間の状況を判断する能力
- ③ 集団をつくって生活しようとする能力
- ④ 相手の期待や要求を推理する能力
- ⑤ 援助の方法や結果を推測する能力

問七 傍線部分(7)「地球が小さくなる」とはどういうことか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 19。

- ① 近代科学の進歩により、地球の大きさが縮小していることが判明したということ
- ② 地球が、小さな共同体や個人の欲求や希望をすべて受け入れるのを中止したということ
- ③ 地球上のあらゆるところに高速の通信や高速の移動が可能になったということ
- ④ 地球全体を一つの社会とみなす、新しい考え方を国々が採用したということ
- ⑤ 地球が有する資源が、国や巨大企業の獲得競争によって枯渇しつつあるということ

問八 傍線部分(8)「人類全体がより豊かに穏やかに、より長く存続していく」とあるが、この実現のために筆者がなすべきと考

えていることは何か。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 20。

- ① 地球を無限に広い空間に戻し、ゆとりも資源も充分にあるようにすること
- ② 小さな共同体や個人の欲求や希望のみにかぎって資源を使うようにすること
- ③ 高速の情報通信機器や高速の交通機関の使用を禁止したり制限したりすること
- ④ 企業が資源の獲得をすることで、資源輸出国の経済にもよい影響をもたらすこと
- ⑤ 自分たちだけの利益、権益を求めのではなく、他国や他者にも配慮すること

問九 傍線部分(9)「なにか事があれば、それは、一気に表面に噴きだしてくる」とはどういうことか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 戦争のような非常事態になると、武力による資源獲得競争が本格化すること
- ② 資源が枯渇するような事態になると、巨大企業による資源の占有が一気に進むということ
- ③ 地球の資源が有限だと判明すると、人々の物へのこだわりがなくなるといこと
- ④ 災害のような非常事態になると、互いに他者を助けたいという気持ちになるといこと
- ⑤ 地球が物理的に縮小していることが証明されると、他者を優先するようになること

問十 傍線部分(10)「化」とあるが、そういう物や状態に変えるまたは変わるとい意味を表す「化」といことばを、下に付けられないのはどれか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 表面
- ② 組織
- ③ 相対
- ④ 推察
- ⑤ 多様

問十一 本文の内容に合致するものを二つ選び、マークしなさい。解答番号は 23 (解答欄一行に二つマークすること)。

- ① ヒトの高次元の利他性は、必ず何らかのかたちで社会とつながって暮らしている強い社会性に起因している
- ② ヒトの高次元の利他性は、家族や血縁のものたちと地球上の有限の資源を分け合う習慣に起因している
- ③ ヒトの高次元の利他性は、相手の表情や態度、行動を読みとる訓練を繰り返していたことに起因している
- ④ 地球社会の資源をより長く維持するために、巨大企業の資源獲得や利益競争は制限すべきである
- ⑤ 地球社会の資源をより長く維持するために、個人は物へのこだわりをすべて捨てるべきである
- ⑥ 地球社会の資源をより長く維持するために、個人が利他と利己のバランスを適切に保つべきである

以降は選択問題です。表紙の「表」の指示に従っていずれか一つを選択し解答してください。
問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意してください。
選択問題を二つ以上解答した場合、得点にはなりませんので十分注意してください。

三ア 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

子育てをしながら、子どもという他者とう向き合うか、をモヤモヤする時がある。めちゃくちゃ可愛い、でも、とんでもなくややこしいし、時に対応が面倒くさい。そして、思い通りにならず腹が立つ時がある。その時に、娘は自分と違う他者である、という娘の「他者の他者性」⁽¹⁾を理解出来ないのだな、と痛感する。だからこそ、磯野真穂^{いそのまほ}さんの新書『他者と生きる——リスク・病い・死をめぐる人類学』は、興味を持って読んだ。

この本は、往復書簡『急に具合が悪くなる』のお相手であり、亡くなられた哲学者の宮野真生子さんから託された「問い」を、磯野さんが全身全霊を込めて、人類学的知をかき集めながら深めて、考え抜いていくプロセスが詰め込まれている。その最終章で、統計学的人間観と個人主義的人間観⁽²⁾、関係論的人間観の三つの人間観が対置され、検討されていく。その考察が、非常に興味深かった。

私たちが誰かと共にいるという「共在感覚」⁽³⁾を持つ時、それは規則性をそこに感じ取っているからだけではない。目の前の相手が手持ちのいくつかの選択肢の中からひとつを選んで相手にそれを投げ放つ。それを受けて自分も同様の選択を行い、相手への投射を行う。このようなやりとりが互いの間でなされているとの実感が持たれる時、共在の枠は初めて双方の相互行為を支える枠として立ち上がる。

年長組の娘と、最近ほボール蹴りをしばしばする。単にバスをし合うだけ、なのだが、それは非常にありありと娘と共にいる「共在感覚」をもたらす。ボール蹴りの場面であれば、彼女がボールをどんな風に蹴るか、あるいはいつ「ちょっと休憩する」とお茶を飲み出すか、「サッカーはもう止めとく」とジャングルジムに行くか、親は予測できない。もうちょっとボールを蹴っていたいのに、「もう止めとく」と突然宣言されることもあるし、「上ボールを蹴って！」と、バウンドするボールを蹴るよう指示され

ることもある。彼女がいつ・どのような選択肢を用いるか、は、僕には直前までわからず、そのたびに微調整が迫られる。娘に振り回される。

これは、僕のコントロールが出来る範囲内を超えている、という意味で、時には面倒くさい。娘と共にいると、親の僕につねにリンキオウ⁽⁷⁾ヘンさが求められる。標準化・規格化された対応とは全くかけ離れていて、振り回されている感覚もある。でも、変な話だが、そうやって娘と遊んでいる時、ありありと「娘と共にいる」という「共在感覚」を持つのだ。面倒くさいけど、面白い。そして、その共在感覚を、同書の中では次のように深めていく。

相手の投射を引き受けるという選択は、相手の投射が自分を生み出すことを許容し、そこで生み出される自分を発見することである。関係論的人間観において、関係を持つ自己と他者はあらかじめ確定していない。投射によって互いが互いを生成し合い、それを見いだすことで「私」／「あなた」という存在が初めて生まれ出る。その「私」／「あなた」の生成の瞬間こそが関係論的時間における時間の萌芽⁽⁸⁾であり、その関係性が維持され、その踏み跡が振り返られたとき、そこで私たちは関係性が編み出した時間という生のラインを発見する。

仕事をバリバリこなす、とか、業績をじゃんじゃか生み出す、という生産性至上主義の枠組みにはまり込んでいると、その論理に合う形で統計学的人間観に己を切り捨てるか、あるいは他者との関係を切り捨てる形での個人主義的人間観に埋没しやすい。僕も、恥ずかしながら子どもが生まれるまで、そうだった。

でも、夜中だろうがお構いなしに泣き叫び、親がそこで関与しないとあっさり死んでしまう⁽⁴⁾、究極の脆弱性⁽⁹⁾を抱えた赤ちゃんである娘を目の前にすると、こちらの勝手な都合は、まさにお構いなしになる。娘が泣き出す、という形で「投射」してきた何かを親の僕が引き受けないと、娘は命を失いかねない。そんな娘の存在や彼女の投射が、父親という僕を生み出すのだし、それによって「父」が生み出されたことを他ならぬ僕自身が発見するのである。泣き出す娘と、そこに対応しようとする父の僕という投

射関係によって、「私」／『あなた』という存在が初めて生まれ出る」。娘がボールを蹴ってくれないと、父は娘と遊べないのである。これはまさにケア関係が生み出される瞬間である。

そして、関係論的時間とは、ケアを主軸にした時間であり、それは統計学的人間観や個人主義的人間観における時間感覚とは違うものである、とも磯野さんは指摘している。

関係論的人間観の中で時間を捉える時、時間を生み出す自他は偶然から生まれ出た存在であるゆえ、「この私」「このあなた」が生まれ出る様相は直線では捉えることができない。それは偶然領域から必然領域に上昇する曲線を引くことで初めて表すことが可能となる。

予期せぬ偶然に支配された時、直線的时间感覚は歪む。(中略) 2017年に娘を授かってからしばらくの間、彼女が夜泣きしている時、朝の3時とかに、子どもを抱っこしながら子守歌を歌っていた。なぜか毎回のように「線路は続くよどこまでも」が出てきた。今から考えると、この夜泣きはいつ収まるのだろうと寝ぼけ眼で絶望的な気分になっていた父の無意識の反映が、「続くよどこまでも」というフレーズに投影されていたのかもしれない。子育ての先輩からは、「大変な時期って一瞬で過ぎるのよ」と何人にも言われた。そして、実際に過ぎ去ってみると、確かにその通りである。A、そのカチュウでパニック状態にいる時は、「なにが一瞬やねん！」とその言葉にもキレていた。永続的に続く大変さのように感じていた。

そう、娘に起こされたあの夜中の3時は、直線的な時間がねじ曲がっていた。時計で計れば、子守歌を歌って娘が寝入るまでは、1時間もかからなかったかもしれない。でも、その時の僕自身の肌感覚では、夜中に娘の泣き声で起こされて、いつ泣き止むとも知れない娘をずっとあやし、常夜灯のみがついている暗い廊下で娘を揺らしながら「線路は続くよ」を小声で歌い続けていた。寝ぼけ眼の「この父ちゃん」が、泣き叫ぶ「この娘さん」の不快を取り除き、安心して眠れるように、抱っこしながら子守歌を歌い続ける。その時に、B、娘が寝静まるまでのあいだ、つまりは「必然領域に上昇する曲線」においては、時間が永遠に引き

延ばされたような関係論的な時間を生きていたのだ。だからこそ、あの夜中の3時は永遠に続くかのように、長く長く感じていたのである。確かに、時間は歪んでいた。

子どもが生まれる以前の、生産性を高めるため、時間管理術の本を必死に読み漁^{あき}っていた30代までの僕は、時間は標準化・規格化されたものであり、であるがゆえに、コントロール可能だ、と思い込んでいた。C、子どもという具体的な他者と共に生き、彼女自身も標準化・規格化された時間を生きる前の状態であるならば、『この私』『このあなた』によって織りなされる時間は、直線的な時間と大きく異なる。

関係論的時間は、想定外で「読めない」がゆえに、僕を苛^{いら}立たせ、不安にさせる。だが、そんな時間があるからこそ、『この私』と『このあなた』の濃密で豊かな関係性を、ありありと実感させる。それはアンコントロールラブルだ。でも、だからこそ、豊^{ほう}穡^{じょう}な時間なのかもしれない。そして、生老病死とは、そのようなアンコントロールラブルな時間が増えることである。

(中略)

最近、ケアを主軸にした社会はどうやって生み出せるのか、が僕自身の一つのテーマになっている。それは、「24時間戦えますか？」という昭和のおっさんの価値観がバリバリ出ている弱肉強食主義の社会とは対極である。ケアを必要とする娘(子ども)や障害者、高齢者のような脆弱な存在が、安心して生きていける社会。それは、標準化・規格化された時間とは対極的な時間の使い方である。生産性や効率性のみを重視した、予測可能な直線的な時間感覚以外を切り捨てない、という意味で、統計学的人間観や個人主義的人間観ではなく、関係論的人間観を大切に社会のありようである。

(竹端寛「能力主義をケアでほぐす」問題作成上、一部を改変した)

問一 傍線部分(ア)、(イ)と同じ漢字が使われているものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(ア) 51、

(イ) 52。

(ア) リンキ|オウヘン

① 人情のキ|ビに通じる

② キヨウ|ビンボウで何でもそこそこできる

③ キ|キヤクされた提案を再検討する

④ 文化祭のキ|カクを立案する

⑤ 二人の意見はキ|を一にしている

(イ) カ|チュウ

① 二つの国を結ぶ文化の|カ|け橋

② 全国一斉に|カ|センの水質調査を実施する

③ 消防士たちの懸命な働きで無事にチン|カ|した

④ 彼女は欲求不満を食欲に|テン|カ|した

⑤ 水が排水口に|カ|ジョウを描きながら吸い込まれた

問二 傍線部分(1)「他者の他者性」の理解に基づく態度として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

53。

① 相手の行動が理解できないとき、自分の価値観に照らして誤りを指摘する

② 他者の言動を自分の経験に基づいて解釈し直すことで納得しようとする

③ 相手の沈黙や曖昧な表現を情報不足とみなして、認識から除外しようとする

④ 相手の言動が自分と異なる場合、その都度、背景や文脈を理解しようとする

⑤ 他者の感情を合理的に説明できない限り、信頼しないようにする

問三 傍線部分(2)「関係論的人間観」における時間の特徴として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

54。

- ① 相手の反応によって内面に刻まれる個別な心理的時間
- ② 季節の変化や天体の運行など自然に基づく循環的時間
- ③ 相互作用を通じて同時並行的に重層化される時間
- ④ 人間に共通する生理学的周期性を帯びた身体的時間
- ⑤ 客観的かつ均質に経過していく直線的な時間

問四 傍線部分(3)「共在感覚」が成り立つために必要なこととして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

55。

- ① 個人の内面状態を、言葉によって可能な限り理解し合うこと
- ② 他者の行動を予測したうえで、自分の行動計画を立てること
- ③ 規則性のある反復行動を、双方のあいだで交互に実践すること
- ④ 統計的に算出された集団パターンを、経験として共有すること
- ⑤ お互いに選択した行為のやりとりを通して、現前の実感が生まれること

問五 傍線部分(4)「究極の脆弱性」について、本文にあげられている意義として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。

解答番号は 。

- ① 他者を依存から解放し、自立を促す契機となること
- ② 個人主義的自己の強化を支援する概念になること
- ③ 生産性を向上させるための感情抑制メカニズムになること
- ④ ケア関係を通じて「私」と「あなた」を生成する根拠となること
- ⑤ 社会統計による個人分類を容易にする要因になること

問六 空欄A、Cに入る語句として、最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号はA 、

C 。

- | | | | | | |
|---|-------|--------|--------|-------|--------|
| A | ① つまり | ② なぜなら | ③ だが | ④ しかも | ⑤ すなわち |
| C | ① また | ② だから | ③ とにかく | ④ でも | ⑤ しかも |

問七 空欄Bに入るものとして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 直線的な時間は偶然領域に大いに沈み込み
- ② 必然領域も偶然領域も共に閉じ込められ
- ③ 曲線的な時間は偶然領域に取って代わられ
- ④ 直線的な時間と曲線的な時間は引きさかれ
- ⑤ 必然領域は直線的な時間に大いに飲み込まれ

問八 傍線部分(5)「この私」「このあなた」によって織りなされる時間は、直線的時間と大きく異なる」の意味を説明するものとして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 各自がそれぞれで体験する時間は、物理的時間の進行を心理的に遅らせる働きを持つ
- ② 「この私」と「このあなた」が共有する時間は、時計に従った単一の時系列として成立する
- ③ 対人関係における時間感覚は、直線的时间で測れないために効率を重視する考え方に役立たない
- ④ 個人の内的な時間感覚は、科学的に測定できる直線的时间を取り除くことによって捉えられる
- ⑤ 他者との関わりの中で編まれる時間は単に流れていく時間ではなく、関係によって意味づけられる

問九 本文の内容に合致するものを二つ選び、マークしなさい。解答番号は (解答欄一行に二つマークすること)。

- ① ケアの時間を細かくスケジュール化して管理すれば、親子関係の質が向上する契機になり得ると主張している
- ② 効率や成果を優先し、休憩時間を削る働き方が、皮肉にも豊かなケアを可能にする条件になると考察している
- ③ 数値データや個人主義的視点から、「私」と「あなた」の関係構造を客観的に割り出せると考えている
- ④ 子育てのつらさや喜びが交錯する時間を肯定的に捉え、(いま・ここ)の実感を伴うかけがえのない過程として描いている
- ⑤ 親子関係を濃密で豊かにするには予測可能な直線的时间感覚を切り捨て、偶然だけに委ねる必要があると述べている
- ⑥ 子どもの思いがけない働きかけで「父」「娘」が立ち現れ、その関係の中で時間の感じ方が新たに生まれると論じている

三イ 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

(注1) すまをはりのかみはるかた 陶尾張守晴賢は、(注2) 大内義隆の家老として、Aを企て主君義隆を追ひ出し、みづから山口の城にゐて、分国を押領す⁽¹⁾。その威漸く強くして、大軍靡き従ひ、今は世の中恐るるに足らずとぞ思ひB。周防・長門の諸将・諸侍等、弓を伏せ、兜を脱ぎて、従ひつくこといふはかりなし。その中に周防の国には吉城・大島、長門の国には美祿・見島の諸侍等、初めは従はざりけるを、「今は時世に任するぞC。忠義ありとても、誰か身を安くしたる。無用の忠義に身を狭められんより、ただ降参せよ」とて、みな陶に降参す。その中に、長門の国の住人厚狭弾正 某といふ者は、そのかみ義隆にDを蒙れり。「一旦は降参すといへども、これは当屋形を窺ふ謀なるべし」と讒する者あり。陶、げにもと思ひ、厚狭を搦めとりて、鎖を以て柱に縛りつけ、四方に炭火を起し火あぶりにす。陶、出でてこれを見る。厚狭はなはだ苦しき、大きに声をあげ、「我すでに降参す、何の罪によつて、かく辛きめ見する。死してのちも物知る事あらば、この報なからめや」とて焼爛れて死す。陶、うち笑ひ、「火責の厚狭、さて懲りよ」といふ秀句して、その戸を野に棄てたり。半年ばかりののち、つねに陶が座の右に厚狭来りて見ゆ。陶、大きに憎み嫌ひしが、安芸の国宮島の軍に、毛利家のために打ち破られたり。その時、厚狭、甲冑を帯し、鹿毛の馬に乗り、真先に進み、陶を馬より突き落せしと、近き軍兵どもは目のあたりに見たり。これより陶ついに合戦に利なくして、敗績したりとかや。

(浅井了意「伽婢子」卷之十二「厚狭応報」問題作成上、一部を改変した)

(注1) 陶尾張守晴賢 室町時代後期の武将。一五二一～一五五五

(注2) 大内義隆 室町時代後期の武将。周防など七か国の守護。一五〇七～一五五一

(注3) 周防 旧国名の一つ。今の山口県東部

(注4) 長門 旧国名の一つ。今の山口県の北西部

(注5) 吉城 周防国吉敷郡。今の山口県山口市

(注6) 大島 今の山口県大島郡

(注7) 美祢 今の山口県美祢市

(注8) 見島 今の山口県萩市見島

(注9) 当屋形 陶尾張守晴賢のこと。「屋形」は主人をいう

(注10) 秀句 駄じゃれ。火の「熱さ」と人名の「厚狭」をかける

(注11) 毛利家 戦国大名。毛利氏はもと安芸国吉田荘地頭。一五五七年には、周防・長門を平定した

(注12) 敗績 戦に大敗すること

問一 空欄Aに入る語として、最も適当なもの一つ選び、マークしなさい。解答番号は 76。

- ① 不義 ② 愚策 ③ 良計 ④ 扇動 ⑤ 脱走

問二 傍線部分(1)「その威漸く強くして」の現代語訳として、最も適当なもの一つ選び、マークしなさい。解答番号は 77。

- ① その勢いがやつのことで強くなって
② その勢いがほしいだけに強くなって
③ その勢いがかろうじて強くなって
④ その厳かさがどうにかこうにか強くなって
⑤ その厳かさが見違えるほど強くなって

問三 空欄Bに入る語として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

① けり ② ける ③ けれ ④ けろ ⑤ けよ

問四 空欄Cに入る語として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

① よかれ ② よき ③ よく ④ よし ⑤ よけれ

問五 傍線部分(2)「忠義ありとても、誰か身を安くしたる」とは、どんなことを言おうとしているのか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 忠義の気持ちがあったなら、誰かがいつか私の地位や立場を補償してくれることになる
- ② 忠義の気持ちがあったなら、主君こそが私の地位や立場を安泰にしてくれるのだ
- ③ 忠義の気持ちがあるとしても、それだけで自らの地位や立場を安泰にした人がいたのだろうか
- ④ 忠義の気持ちがあるとしたら、主君以外の誰かが私の地位や立場を補償してくれることがある
- ⑤ 忠義の気持ちがあったなら、誰かの地位や立場を安泰にすることができるのだ

問六 空欄Dに入る語として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

① 罰 ② 戒め ③ 罪 ④ 仰せ ⑤ 恩

問七 傍線部分(3)「降参す」、(4)「死して」、(6)「突き落せし」の動作主は誰か。最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。ただし、同じ番号を複数回解答してもよい。解答番号は(3) 、(4) 、(6) 。

- ① 讒する者 ② 軍兵ども ③ 諸将・諸侍等 ④ 陶尾張守晴賢 ⑤ 厚狭弾正某

- 問八 傍線部分(5)「この報なからめや」の現代語訳として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。
- ① この報告がないことがあるうか
 - ② この復讐くしゅうがないことがあるうか
 - ③ これは補償してもらえないのだろうか
 - ④ この褒美はもらえないのだろうか
 - ⑤ これでは利益がでないのではなからうか

- 問九 本文の内容に合致するものとして、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。
- ① 厚狭弾正某は、毛利家のために陶尾張守晴賢を討ち果たした
 - ② 厚狭弾正某は、陶尾張守晴賢を討ち果たすために偽って降参した
 - ③ 大内義隆に忠義を尽くしたため、厚狭弾正某は殺されたのである
 - ④ 事実を曲げた悪口を言われたため、厚狭弾正某は殺されたのである
 - ⑤ 忠義を尽くさない悪人だったため、厚狭弾正某は殺されたのである

問十 『伽婢子』は、江戸時代に刊行された仮名草子である。『伽婢子』と同じく、江戸時代に刊行された仮名草子をも一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 伊曾保物語
- ② 宇治拾遺物語
- ③ おくのはそ道
- ④ 舞姫
- ⑤ 今昔物語集

三ウ 次の文章を読み、後の問に答えなさい（設問の関係上、訓点を省いた部分がある）。

孟子曰、「無^(注1)或^(注2)乎王之不^(注3)智也。雖^(注4)有^(注5)天下易^(注6)生之物也、一日^(注7)暴^(注8)之、十日寒^(注9)之、未有能生者也。吾見^(注10)亦罕^(注11)矣。吾退^(注12)而寒^(注13)之者至^(注14)矣、吾如^(注15)有^(注16)萌^(注17)何哉。今夫^(注18)奔^(注19)之為^(注20)数、小数也、不^(注21)專^(注22)心致^(注23)志、則不^(注24)得也。奔^(注25)秋、通^(注26)国之善^(注27)奔^(注28)者也。使^(注29)奔^(注30)秋誨^(注31)二人^(注32)奔、其一人專^(注33)心致^(注34)志、惟^(注35)奔^(注36)秋之為^(注37)聽。一人雖^(注38)聽^(注39)之、一心^(注40)以^(注41)為^(注42)有^(注43)鴻^(注44)鵠^(注45)將^(注46)至、思^(注47)援^(注48)弓^(注49)繳^(注50)而射^(注51)之、雖^(注52)与^(注53)之俱^(注54)学、弗^(注55)若^(注56)之矣。為^(注57)是^(注58)其智弗^(注59)若^(注60)与。曰^(注61)非^(注62)然也。」

〔孟子〕

(注1) 或 怪しむ

(注2) 暴 あたためる。保護することのたとえ

(注3) 寒 冷やす、冷たくする。害になることのたとえ

(注4) 奔 囲碁

(注5) 数 技

(注6) 奔秋 囲碁の名人の名前

(注7) 通国 この国で一、二を争う

(注8) 誨 おしえる

(注9) 弓繳 矢に糸を付けて鳥を射る道具

問一 傍線部分(1)「未有能生者也」に付ける返り点として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

101

① 未_レ有_二能_一生_者也

② 未_レ有_二能_一生_者也

③ 未_レ有_下能_上生_者也

④ 未_三有_二能_一生_者也

⑤ 未_レ有_レ能_レ生_者也

問二 傍線部分(2)「寒之者」とは、どのような人を指すか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

102

① 王のはやる気持ちを抑える者

② 王の冷たい気持ちを理解できる者

③ 王に対して害になることを進言する者

④ 王に対して常に冷静な態度で接する者

⑤ 王に対して冷たい飲食物を提供する者

問三

傍線部分(3)「吾如有萌何哉」の意味として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

103

- ① 王の心に善政への芽生えがあったことは、私が考えていたとおりだ
- ② 王の心に悪政への気持ちが生まれてきたら、私は何としても止めるだろう
- ③ 王の心に悪政への気持ちが生じてもしかたなく、私にはどうすることもできない
- ④ 王の心に善政への芽生えがあったとしても、私にはどうしようもないではないか
- ⑤ 王の心に善政に対する思いがきつと生まれてくることを、私は大いに期待している

問四

傍線部分(4)「不専心致志、則不得也」の意味として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

104

- ① 心を集中させて誠心誠意取り組んだとしても、どうしてもできないことはある
- ② 気持ちを集中させて懸命に取り組んでさえいれば、いつかは手助けを得られる
- ③ 心を落ち着かせて集中して物事に取り組まないから、できることもできないのだ
- ④ 心を一つのことに向けて一心不乱に取り組むのでなければ、上達することはできない
- ⑤ 一つのことをやり遂げようという強い気持ちがなかったから、十分な報酬が得られなかった

問五

傍線部分(5)「使弈秋誨二人弈」の書き下し文として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

105

- ① 弈秋を使ひて二人弈を誨へしむれば
- ② 弈秋をして二人に弈を誨へしむるに
- ③ 弈秋に二人をして弈を誨へしむるに
- ④ 弈秋をして二人の弈を誨へしむれば
- ⑤ 弈秋に使ひして二人に弈を誨へしむれば

- 問六 傍線部分(6)「惟」、(7)「与」の読みとして、最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は
- (6) 、(7) 。
- (6) ① これ ② ただ ③ たれか ④ いえども ⑤ おもうに
⑦ ① と ② あたえ ③ おいて ④ ために ⑤ くみして

- 問七 傍線部分(8)「弗若之矣」とあるが、弟子の一人はなぜもう一人におよばなかったのか。その理由として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 弟子の一人はもともと囲碁の才能を持った上で学んだが、もう一人の弟子はその才能を持っていなかったから
② 弟子の一人はもともと囲碁の技術を十分に備えた上で学び始めたが、もう一人の弟子は全くの初心者だったから
③ 弟子の一人は熱心に先生の教えを聞いていたのに、もう一人の弟子は他のことを考えて集中して学ばなかったから
④ 弟子の一人は囲碁の才能を持ち、もう一人の弟子は弓矢の才能を持っていて、そもそも学ぶ内容が異なっていたから
⑤ 弟子の一人は先生に学んだ後自分でも学習していたが、もう一人の弟子は先生に学んだ後は他のことをしていたから

- 問八 この文章をとおして、孟子はどのようなことを主張しようとしているのか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 王も時には植物栽培や弓矢などの趣味に集中することで、かえって政治にも心を集中することができる
② 王にはそもそも立派な主君となる知識が十分ではないのだから、家臣の冷静な意見を誠心誠意聞くべきだ
③ 王はそもそも立派な王としての能力を備えているのだから、自分の思いに集中すれば、立派な政治が行える
④ 王は主君としての能力を持っていないのではなく、先生について学び、それを伸ばす手段を持っていないだけだ
⑤ 王に主君としての能力がないのではなく、悪言を退け先人の教えに心を集中しさえすれば、立派に王の務めが果たせる